

地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立安佐市民病院
病理診断科
医学生アドバンストコース（2週間：診療参加型）
研修プログラム

概要

病理医として適切な医療に貢献するために、診断病理学に必要な基本的な知識、技能、態度を身につける。当院は、広島県北部、山陰地方の一部に至る広い範囲を包括する地域の中核病院として、30余りもの多数の診療科を擁し、多彩で豊富な症例が経験可能である。また、DPCⅡ群（高診療密度病院群）病院に指定されており、先進的な診療を提供する各科との合同カンファレンスに参加すること等で最先端の診療に触れ、臨床病理の現場を体験することで、医療の中で果たす病理業務の役割を理解する。さらに、剖検例など病理特有の幅広い臓器の検索は、疾患の系統的、全人的な病態把握に役立つものとする。

I. 実習到達目標

【一般目標 GIO】

- (1) 病理学的診断に基づく evidence based medicine を理解する。
- (2) 臨床医としての病理医の役割を自覚し、チーム医療の中で、他科の医師や臨床検査技師をはじめとする他の医療従事者との適切な情報交換の重要性を理解する。
- (3) 病理解剖の役割と適応について説明できる。
- (4) 病理組織診断、細胞診断の役割と適応、限界について説明できる。

【到達目標(行動目標) SBOs】

- (1) 病理業務に関連した法律について理解する。
- (2) 病理検体（臓器・組織・細胞）取り扱いに関わる法的事項、倫理的事項を説明できる。
- (3) 病理検体の基本的な扱い、写真の取り方について学ぶ。
- (4) 基本的な切り出し方法を習得する。

- (5) 病理標本作製について学ぶ。
 - ・ パラフィン標本
 - ・ 細胞診標本
 - ・ 免疫染色
 - ・ 特殊染色
- (6) 迅速標本の作製、診断について学ぶ。
- (7) 5 大癌のうち希望するいくつかに関して、癌取扱い規約に則った病理報告書の作成について学ぶ。
- (8) 院内カンファレンス（消化器カンファレンス、乳腺カンファレンス、がんセンターボード、血液カンファレンス、呼吸器カンファレンス）に参加する。

II. 研修方法

1. オリエンテーション

- (1) 医事法制および死体解剖保存法の概要について説明できる。
- (2) 病理解剖許諾に関する法的事項、法医学的な検索を必要とする病理解剖の分類について説明できる。

2. 病理検体の扱い、写真撮影、標本作製

主任技師による説明

3. 切り出し

毎日 10時から1～2時間

指導医の指導にそって切り出し作業を実際に行う。

臓器の写真撮影方法について学ぶ。

4. 検鏡

毎日 8時半から終日

- ・ 指導医とディスカッション顕微鏡で鏡頭し、診断方法の実際に触れる。
- ・ 取扱い規約のなかで、病理組織診断に記載すべき事項を抽出しその内容を把握し、意義について理解する。
- ・ 顕微鏡写真の取り方について学ぶ。

5. カンファレンス

- ・ 消化器カンファレンス 毎週月曜 17時30分～
- ・ 乳腺カンファレンス 毎週火曜 17時～
- ・ キャンサーボード 毎週水曜 19時～
- ・ 血液カンファレンス 毎週木曜 18時～
- ・ 呼吸器カンファレンス 毎週金曜 7時45分～

症例発表を行う。

6. 剖検例

- ・ 随時
- ・ 初期研修医のCPC準備例、過去のCPC症例資料を材料に全人的病態の把握に勉める。

III. 指導体制

1. 専任指導医

金子 真弓 (病理診断科 主任部長) H4 卒

専門領域 乳腺

木村 修士 (病理診断科 後期研修医) H25 卒

2. 非常勤指導医

松浦 博夫 (元 広島市立広島市民病院 主任部長) S48 卒

3日/週 勤務

城間 紀之 (広島大学病院病理診断科 助教) H20 卒

半日/週 勤務

IV. 評価

学生の評価は以下の如く行う。

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	80
カンファレンスでのプレゼンテーション	20